

出穂後の麦の適切な管理をお願いします

発行元 大分県農林水産研究指導センター
農業研究部水田農業グループ
令和2年3月27日(金)

大分県農林水産研究指導センター水田農業グループ(宇佐市)の
作況判定試験に供試している全品種が出穂期を迎えました。

	本年	平年	差	(※昨年)
トヨノカゼ	3/26	4/6	-11	3/31
ニシノホシ	3/24	4/6	-13	3/31
チクゴイズミ	3/25	4/10	-16	4/2
ニシノカオリ	3/26	4/11	-16	4/4

※播種期は令和元年11月20日、全品種ここ10年で最も早い出穂期
(昨年よりも、さらに一週間程度早い。)

1.赤かび病の防除時期を逃さないように、防除は2回

麦種	1回目	2回目
小麦	開花最盛期 (出穂期の7~10日後)	1回目防除の7~10日後
二条大麦	葯殻抽出期 (" 12~14日後)	" 7日後
裸麦	開花最盛期 (" 5~7日後)	" 7~10日後

※1回目防除は、できれば出穂後日数でなく麦の開花状況等を観察して実施

2.パン用・醤油用小麦は、必ず実肥を実施する。

- ・実肥は小麦のタンパク含有率を高めるための必須作業です。
- ・必ず実施すること
(実肥が原因で倒伏する恐れなどはありません)

施用時期	施用量
出穂後0~10日後	窒素成分6kg/10a

3.今後も排水対策を徹底する。

- ・これからの湿害による根痛みは、登熟に大きな悪影響を及ぼします。
- ・額縁明きよの水が圃場外に排水できるようにするなど、排水対策を徹底してください。